



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは こうへい 山田耕平 です

2022.9.22 No.456

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

右QRコードを

ご活用下さい



杉並区議会第3回定例会 区民福祉の向上へ

岸本区長 家賃助成制度の実施を表明

住宅をめぐる杉並区の実態

	杉並区	23区
住宅総数に対する 民営借家数の割合	50.1%	43.5%
借家数に占める公 営借家数の割合	2.2%	6.3%
最低居住面積水準 未達の住宅の割合	15.8%	13.1%

**公営借家比率
23区の3分の1**

質問によって、杉並区における住宅の実態と区の取り組みの遅れが明らかになりました。杉並区は23区のなかでも借家住宅の比率が高いにも関わらず、公営借家（都営・区営住宅）の比率は、23区平均の3分の1と極めて低い状況です。

**高い家賃に苦しむ区民
切実な願いに答えて**

コロナ禍による失業や収入の激減、物価高騰のもとで、賃貸住宅に住む方から「家賃の負担が重い」など切迫した声が寄せられています。現在開会中の第3回定例会で党区議団は賃貸住宅居住者への支援策を区に迫りました。杉並区の住宅を巡る貧困な状況や区の対応の遅れを指摘し、岸本区長に対策を求めました。

区長は「民間賃貸住宅の空き家も増えており、活用策として多くの区で行なっている家賃助成制度を実施していきたい」と答えました。

家賃助成制度については、党区議団は再三に亘り実施を求め、区はしっかりと議論して対応していきたいと答弁していましたが、岸本区長のもとで、実施が表明されました。

2023年度予算編成への要望書 岸本聡子区長に提出



要望書を手渡す区議団。
※金子区議は体調不良のため欠席。

9月21日、日本共産党杉並区議団は、来年度の予算編成に対する要望書を岸本区長に提出しました。

コロナ対策の拡充や国民健康保険料の引き下げ等、区民の命と暮らしを守るための施策に予算配置を行なうよう求めたものです。

要望書を受け取った岸本区長は、区議団の説明に熱心に耳を傾け、予算編成のなかで検討したいと答えました。

次期住宅マスタープラン 対策の遅れの打開を

「健康で文化的な住生活を営む」基準となる最低居住面積水準未達の住宅が、23区では13.1%であるにも関わらず、杉並区は15.8%と高いことです。

さらに、こうした状況にも関わらず、区の対策が極めて遅れていることも浮き彫りになりました。

国は民間家賃住宅の家賃を下げるために家主への助成制度を作り補助金を出していますが、杉並区は1件も助成していません。これが明らかになりました。

党区議団は、これらの現状を直視し、次期住宅マスタープランに打開のための手立てを示すよう求めました。

